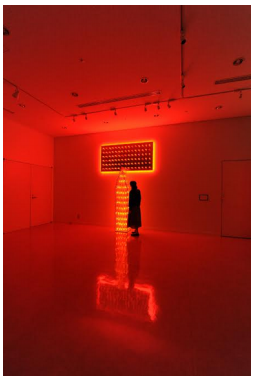
ギャラリー

楽風企画

神話の中の光たち　貴俵秀行展【インスタレーション】

10/30(木)～11/11(火)　11/5(水)休　10時~7時　最終日5時



神話の夜明け、掌に宿った小さなあかりは、はるか悠久の時を旅する。幾千の夜を迎えてやがて宇宙の果てでひとつの星となり、秘めた思いを永遠の光として解き放つ。
その眩い輝きは、静かに波紋を描きながら地球を包み込み、僕たちの世界を幻想的な光のヴェールで満たしていく。それは、遠い日の思い出を呼び覚まし、忘れかけていた優しい夢をそっと織りなす。
25年ぶりの楽風での展覧会。あかり(LED)を光に見立て、人形(キューピー)を使用したインスタレーション及び立体作品を展示します。

楽風企画

葛生裕子展【油彩抽象】

11/13(木)～25(火)　19(水)休　10時~7時　最終5時

油絵具を混ぜて練ったり、しつこくコテでぬめっとのばしたりするのが好きです。
そういう作業の中で、少しだけ形を意識するようになってきました。
扇形のシルエット(※写真)は、雑誌などから切り抜いた帽子や首飾りなどをヒントにしています。
「絵になりすぎていないか、要領の悪い画面になっているか」
作業がノッテいる時も、行き詰った時も、物差しにしています。

楽風企画

homespun 野獣派　八重畑佐和子展【紡･織】

11/27(木)～12/2(火)　10時~7時　最終日5時

日本の風土で育まれた羊毛は、肌触りの良い柔らかいもの、張りのあるシャキッとしたもの、ごわごわと固くて一筋縄ではいかないもの、と様々。
そんな羊たちの、背景も含めたそれぞれの個性が、布からにじみ出ていたらいいなぁと思っています。
野獣派とは、絵画において、目に映る色彩ではなく、心が感じる色彩を表現していると評された流派。私もホームスパン界の野獣派と呼ばれたい。

バングラデシュ 平和をつむぐノクシカタ刺繍展　12/4(木)～9(火)

10時~6時　最終日3時

質感溢れる柔らかい手織りのベース布を使用。草木染の発色へのこだわり。この布、糸でしか表現できない風合いは人々の心を癒してくれます。千年以上の歴史をもつノクシカタ刺繍。様々な動物、植物をモチーフに、平和への思いを一針一針に込めて…刺繍製作はバングラデシュの女性たちの大きな生きる力です。

縄トモコ紅型展　～月の御話～　12/13(土)～16(火)

10時~7時
最終日4時

縄さん、楽風では6年ぶりとなる額作品をメインにした展覧会です。
～月の御話～　型紙を用いて物語を紡ぐように染めた紅型作品を異素材と組み合わせ、表現を深めたミクストメディアのパネルや額装の作品およそ20点が展示販売されます。他に帯やタペストリーなども。

風見靖子 絹の衣　12/18(木)～23(火)　11時~6時 最終日5時

保温性、通気性、紫外線防止、抗菌効果など優れた機能性をもつ素材、シルク。風見さんの展覧会も回を重ねてきました。コートドレス、ジャケット、スカート、パンツ、ショール…今年もまた、深い光沢を湛えた素敵な服に会いにいらしてください。纏って身体に優しい着心地を体感なさってください。